



⑤ 岩倉塚古墳

新たな国史跡に指定された大型円墳

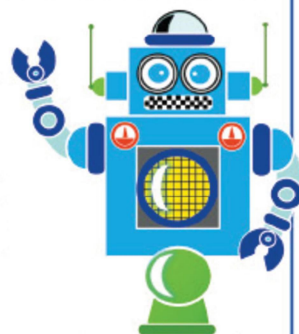
Q1 岩倉塚古墳とは、どんな古墳なの？

A1

椀貸塚古墳の外ばりの一部をおおいかぶせるようにしてつくられた古墳です。

この古墳は、6世紀の終わりごろ、椀貸塚の後につくられたと考えられています。これまでの調査によると、この古墳は、少なくとも直径30m以上の大型の円墳であったと推測されます。

また、横穴式石室があり、玄室の規模は長さ4.5m以上、幅2.3m、高さ2.9mもあり、かんす塚古墳と同じ規模の大型石室であったことがうかがえます。



現在の岩倉塚古墳



岩倉塚古墳の玄室



Q2 岩倉塚古墳からは、どんなものが出てきたの？

A2

発掘調査の時には、石室の内部に玉砂利の層が現れ、その石の一つ一つにお



出土した「一字一石経」

経に関する「法」「佛」などの文字が書かれていました。これは、一字一石経と呼ばれるもので、江戸時代の人々が願いをこめて納めたものです。このことから、岩倉塚古墳は、後に地域の人々の信仰の対象となっていたと考えられます。

